科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP
環境とエネルギー	渕上佑樹	講義	2		1	3

授業概要 授業目的	SDG s や 2050 年カーボンニュートラルの達成といった環境問題の課題解決に向けて世界全体が取り組みを進めています。この中で、化石資源を使った社会から、太陽光、風力、水力、バイオマスなど再生可能な資源・エネルギーを使った持続可能な社会への転換が進んでいます。この授業では、化石資源を使うことで引き起こされた環境問題について学ぶとともに、各種再生可能資源・エネルギーの導入がカーボンニュートラルな社会の実現にどのように貢献するかについて学びます。
到達目標	気候変動問題を中心とした環境問題とその対策に関する基礎的な知識を習得する。カーボンニュートラルな社会の実現について、具体的なビジョンをイメージできるようになる。

回	学習内容
1	環境とは何か、環境問題とは何か
2	地球温暖化と脱炭素社会
3	カーボンニュートラルの実現に向けて
4	エネルギーと環境の関わり
5	エネルギーの動向
6	エネルギー供給源の種類と特性
7	再生可能エネルギー（太陽光、風力など）
8	再生可能エネルギー（バイオマスエネルギーなど）
9	省エネルギー対策と技術（省エネルギー技術）
10	省エネルギー対策と技術（システムとしての省エネルギー技術）
11	世界の森林と CO_2 吸収機能
12	循環型社会を目指して(サーキュラーエコノミー)
13	製品の環境配慮(ライフサイクルアセスメント)
14	製品の環境配慮(ライフサイクルアセスメントの演習)
15	まとめ

予習内容 復習内容	予習：事前に配布する資料を読む。テーマに関連した文献等を調べる。 復習：講義内容に関するレポート、ミニテストなどの課題を出す。
教科書	教科書は使用しない。資料を毎回配布する。
成績評価	毎回の課題・・・50%、最終レポート・・・50%
実務経験	環境 NPO に勤務し、地域における気候変動問題対策を実践してきた経験をもとに、現場での活動事例などを交えて環境とエネルギーについて説明をします。
その他 特記事項	なし